

平成
13年 7

平成13年7月1日発行 第464号
(毎月1日発行 定価1部40円)

発行人 石川県商工会連合会
発行所 石川県金沢市戸水町イ65番地
〒920-0223 TEL (076)268-7300

商工わがのと

石川県商工会連合会会報

<http://www.ishikawashokokai.or.jp/>



とじ込んで保存しましょう

うのけまつり CAT'S FESTA UNOKE (宇ノ気町)

主な内容

- 県連合会
平成13年度通常総会を開催.....(2)
- 「商工会の日」に一斉事業.....(3)
- 商工会法を改正.....(4)
- 経営一口講座.....(5)
- いしかわ商工会ベスト店賞...(6)(7)
- 探訪「チャレンジ企業」
オカダ合金(株):宇ノ気町.....(8)

ネコをモチーフにしたユニークなまつり「うのけまつり」CAT'S FESTA UNOKE」が八月四日土日に開催されます。きっかけは、宇ノ気町が世界に誇る偉大な哲学者、「西田幾多郎博士」が大のネコ好きだったこと、哲学を通じて姉妹都市となったドイツの「メスキルヒ(Messkirch)市」にも有名な「ねこまつり」があったことです。

昨年は、メスキルヒ市からの訪問団による、本場のねこ踊りも披露されました。ネコのメイク、仮装をしたユニークな踊りをぜひ来町いただき見てください。

県連合会平成十三年通常総会を開催

事業報告・収支決算を承認

県連合会では、五月二十五日(金)金沢市戸水町の同会議室で、平成十三年通常総会を開催した。

本総会の議案は「第一号議案 平成十二年度商工会連合会事業報告及び一般会計収支決算並びに建物保守管理等の特別会計収支決算の承認について」、「第二号議案 平成十二年度商工貯蓄共済事業特別会計事業報告及び損益計算書等の承認について」、「第三号議案 商工貯蓄共済業務規約の一部改正について」であり、いずれも承認を行った。続いて、「第四号議案 辞任に伴う役員の補欠選任について」

て」を諮り、新しく理事に青年部連合会長の梅原竜一、女性部連合会長の南洋子を選任した。

なお、事業報告では、依然として先行き不透明な状況で推移する中、県連合会としては国・県の各種施策の普及と活用を図り、IT(情報技術)の活用推進支援、新規創業支援セミナー・創業塾や経営革新支援セミナーの開催を行うとともに、商工会設立四十周年記念事業の実施、本会委員会の見直しや商工会広域連携指導体制の基本方針策定に向けての検討などを積極的に行ったことを報告した。

新任会長紹介



高松町商工会長 一良 小山

五月十八日通常総会で選任。

有(小山)カパーリング社長(北陸横捲工業協同組合)理事長。高松町商工会青年部長、高松町商工会理事。



内浦町商工会長 實 濱田

四月二十五日通常総会で選任。

濱田建具店代表。内浦町議会議員。内浦町商工会理事、副会長。

順不同・敬称略

青年部会長に梅原竜一氏 女性部会長に南洋子氏が選ばれる

青年部・女性部両連合会平成十三年通常総会を開催

県商工会青年部・女性部両連合会の十三年通常総会は五月十一日、ホテル日航金沢で開催され、十三年度事業計画や任期満了に伴う役員の選任などが満場一致で可決承認された。新たな会長として青年部から梅原竜一氏が、女性部から南洋子氏がそれぞれ選ばれた。



梅原 竜一 氏
十三年 度の新規事業として、地域経済、中小企業



南 洋子 氏
の振興について知事をお招き懇談する

経営者等振興懇談会(仮称)を青年部、女性部合同で開催するほか、各商工会が広域事業で実施する若手後継者育成事業を支援していく。

青年部は、ビジネスネットワークづくり、起業家育成支援事業の推進、経営資質の向上を図る。女性部は、部員の資質向上、豊かな生活環境づくり、広域連携への取り組みを推進していく。

なお、両部の役員は次のとおり。

(青年部)

- 会 長 梅原竜一(森本)
- 副会長 西出 淳(辰口町)
- 山下悟志(河内村) 寺岡一彦(富来町) 山本健一(鳥屋町)
- 三宅一宏(能都町)
- 理 事 三木 優(山中町) 福田幸夫(根上町) 北村美智夫(寺井町) 東 芳信(川北町) 北田朋幸(美川町) 徳田章(鶴来) 橋本與志一(吉野谷村) 奥 勝治(鳥越村) 鶴尾弘明(尾口村) 風 尚樹(白峰村) 今村浩一(津幡町)
- 岡田浩二(高松町) 酒井良幸(七塚町) 村田英俊(宇ノ気町) 藤井克行(森本) 菅上守(内灘町) 土一政明(羽咋市) 宮本 敦(志雄町) 橋映吾(志賀町) 川森 啓(田鶴浜町) 山本 剛(中島町) 山本孝司(鹿島町) 加地直樹(能登島町) 岡野光雄(鹿西町) 七海友也(穴水町) 永川

(女性部)

- 会 長 南 洋子(川北町)
- 副会長 塚本良美(押水町) 藤村恵子(野々市町) 岩井代志子(鹿島町) 石川美代子(穴水町) 高平成代(宇ノ気町)
- 理 事 土黒久枝(山中町) 佐田了子(根上町) 宅見慶子(辰口町) 大杉淳子(美川町) 山守百合子(鶴来) 幅口一美(河内村) 柴山久美子(吉野谷村) 川辺すみ子(鳥越村) 北村祐子(尾口村) 竹 陸子(白峰村) 河上博美(津幡町) 金津美智子(高松町) 気谷里美(七塚町) 川口みつ子(森本) 安田美津江(内灘町) 足立洋子(羽咋市) 石田幸子(富来町) 宝達孝子(志賀町) 福井富子(田鶴浜町) 溝手美代子(鳥屋町) 中田美智子(中島町) 中村由紀子(能登島町) 初道政子(鹿西町) 表洋江(門前町) 鶴野綾子(能都町) 四辻たづ子(柳田村) 新出三三恵(内浦町) 本吉哲夫(員外)
- 監 事 南 京子(寺井町) 井村邦子(志雄町)

敬生(門前町) 本間雅彦(柳田村) 富田浩史(内浦町) 本吉哲夫(員外)
監 事 沖野信一(野々市町) 堂高 修(押水町)

「商工会の日」に一斉事業

各商工会青年部員が奉仕活動などを展開

六月十日の「商工会の日」にちなみ、県内の商工会青年部でこの程、県下統一福祉増進事業が実施され、各地で海岸・河川清掃、地域緑化運動、社会福祉施設への慰問、交通安全運動、献血運動などが行われた。

同事業は、地域の魅力化の推進、青年部活動の活性化と組織の連帯感の醸成などを目的として平成十年度から実施しているもので、今年度で四回目となる。
当日は青年部員らが額に汗し、奉仕活動などに励んだ。



辰口町の環境美化作戦！
～街をきれいにしましょう～

視点

鹿島町に北陸元旦という会社がある。
元旦という名称は、出資先の社長の名前が船木元旦（もとかつ）ということ、そこから取ったとのこと。

名前のユニークさもさることながら会社そのものも今日的なニーズに沿った業態である。

工程は、簡単に言うとうと、ガラスピンを回収し、それを細かく破砕し、コンクリートと接着剤を一部混ぜて透水性のインターロッキングブロックにするというもの。

ガラスピンは、県内一円から集め、製品は県内を中心に北陸地域を販売先としている。
いわゆる地域密着型のリサイクル企業ということになる。
雇用も、社長以下すべて地元

であるが、出資は五五％が元旦ビユーティ工業など県外企業であり、製造ノウハウ（特に接着剤の技術）もこの会社から得ている。

企業の誘致は、誘致する側と進出側の考え方やタイミングが一致しないとかなかなかうまくいかないが、純粹に立地条件だけをみると、下請企業の集積や教育関連を含めた都市的環境、豊富な水、交通の利便性と相対的に安価な地価といった条件が求められる。もちろん業種や企業形態によって企業の求める条件は異なるが。

小松に進出する日野車体工業（本社横浜）は本社機能も含めて移転してくる（創業は来年春で、県内への波及効果は大きい）が、移転にあたっては条例適用も含めていろいろ条件が合致したとは思いますが、バスの組み立てという技術的な面から見ると機械関係の下請が多く、

しかもレベルが全体的に高い小松地区に立地のメリットがあると判断したものと思つた。

また、加賀地区には食品関連の工場や半導体などの生産工場が立地しているが、こちらは豊富な地下水がキーポイントである。

これに比べると能登地区は、どうしてもこのような条件に恵まれていないし、かつての労働力を当てにした企業活動も、最近のグローバルな動きからみて極めて難しい状況になっている。

鹿島の企業の事例は、これからの企業誘致の新しいスタイルとして期待しているが、このような企業形態のさらなる展開に加えて、もう一度、地域資源や地場産品をハイテクの目で捉え直してみることも必要ではないか。そこから新しい産業の芽が出てくることがある。
（石川県商工会連合会 専務理事 大塚忠寿 記）

平成13年度「商工会の日」県下統一福祉増進事業実施内容

商工会名	実施場所	実施事業名	商工会名	実施場所	実施事業名
山中町	山中町役場前	献血の推進事業	宇ノ気町	老人福祉施設「あかしあ荘」	あかしあ荘慰問
根上町	根上町総合文化会館周辺	根上り七夕まつり会場周辺の事前清掃	森本	JR森本駅周辺	清掃活動
寺井町	サンロード寺井（県道）	花いっぱい運動	内灘町	内灘海岸（室地区）	海浜美化清掃
辰口町	辰口温泉街	環境美化作戦（カーブミラー清掃、空き缶拾い）	羽咋市	羽咋市立羽咋小学校内 羽咋子ども育成クラブ	学童保育施設訪問
川北町	川北町役場前	献血運動	富来町	増穂浦海岸周辺	清掃奉仕
美川町	美川町湊町小舞子海水浴場 美川町湊町「湊リフレッシュセンター」	小舞子海岸清掃 献血運動	志雄町	能登有料道路「志雄パーキングエリア」	志雄パーキングエリア清掃奉仕
野々市町	野々市ディサービスセンター	福祉施設への日用品寄贈	志賀町	特別養護老人ホームはまなす園	特別養護老人ホームはまなす園慰問
鶴来	清掃奉仕一本町通り周辺 「花の種」配布・ショッピングセンター「レッツ」、「コア」前	クリーンキャンペーン	押水町	ちどり園（老人ホーム）	老人ホーム清掃奉仕
河内村	献血ルーム・ラブロ	献血運動	田鶴浜町	健康増進センター「アスロン」周辺	アスロン周辺清掃奉仕
吉野谷村	国道157号沿線	奉仕活動事業	鳥屋町	鹿寿苑（老人ホーム）	老人ホームの清掃奉仕
鳥越村	村内主要道	カーブミラー清掃	鹿西町		
尾口村	一里野近隣	みんなで花を植えよう	中島町	中島地内 大規模農道	桜の木の除草刈り
白峰村	白峰村字白峰「総湯」前	白山まつりシンボルタワーの設置並びに清掃奉仕	能登島町	能登島町通地内（ツインブリッジ小公園）	公園の清掃奉仕
津幡町	津幡町南中條174-1	献血	穴水町	潮騒の道	ボランティア活動（ゴミ清掃）
高松町	高松町二ツ屋地内（高松レストハウス付近）	高松町海浜美化清掃	門前町	町内学校の通学路、公共施設、福祉施設周辺	カーブミラー清掃
七塚町	ふれあい館周辺	美化清掃	能都町	海岸周辺	クリーンビーチいしかわ清掃活動
			柳田村	村内主要道路	缶無クリーン運動
			内浦町	ふるさとキリコ橋周辺	観光地清掃奉仕

商工会法を改正

政府は、「商工会法の一部を改正する法律案」を今国会に提出した。国会では、五月末に衆議院を通過、六月中に参議院で可決、成立し、早ければ今年夏から施行される見通しである。

本法案は、近年の商工業者を巡る経済環境の変化の中で、経営指導の高度化や商工会活動の広域化が一層必要となってきたが、小規模な商工会における対応は困難なことから、合併等によりその事業の効率的かつ効果的な実施を図るために商工会の合併に関する規定を設けるとともに、市町村の合併等があった場合における市町村の区域の一部を地区とする商工会同士の合併についての特例を設ける等の改正を行うものである。

改正案の概要は次のとおり。

商工会の合併に関する規定

一、合併手続規定の創設

改正点

現行制度において、A商工会とB商工会が合併しようとする場合には、清算型の手続きを採らなければならないAを廃止しBの地区を拡大するか、A・Bを廃止しC商工会を新たに創設する。今回の改正により、合併手続規定を創設し、清算型の合併に伴う民事上・税法上のデメリット

の解消を図る。

合併手続規定創設による

メリット

《民事上のメリット》

現行制度における清算型の合併においては、商工会が有する個々の財産・債権債務ごとに移転手続きが必要であるが、法改正により全ての財産・債権債務を包括的に引き継ぐことができるようになる。

《税法上のメリット》

現行制度における清算型の合併においては財産移転が通常の見引とみなされ、法人

税・住民税・不動産取得税等について高率の課税がなされるが、法改正によりかかる税負担が解消・軽減される。

二、同一市町村内の商工会の合併の特例的な許容

商工会法上、原則、商工会の地区は一つの市町村の区域であるが、市町村合併があったときには、旧市町村区域を地区とする商工会の存続が認められる。

現行制度において、市町村合併によってできた「同一市町村内の一部を地区とする商工会」同士の合併で、合併後も当該市町村の一部が地区となつたものは許容されていない。

市町村合併後も長期にわたり同一市町村内に多くの商工会が存続している状況に鑑み、法改正により、右記の合併についても、市町村合併後の特例として、通常の設立要件の充足に加え、一定の条件の下に認めることとする。

その他の改正

一、全国商工会連合会・都道府県商工会連合会の副会長の増員

商工会の広域化・合併の指導・調整等に当たるため、全国商工会連合会・都道府県商工会連合会の副会長の上限を五人から六人に改める。

二、全国商工会連合会の財務諸表等開示

認可法人のディスクロージヤを進めるとの観点から、全国商工会連合会の財務諸表等の公開を義務づける。

人事異動

- 「商工会等職員採用」
七塚町 素野優美子（六月一日付）
- 「人事交流」（内は前任地）
六月一日付
田鶴浜町 清水雅成（鳥屋町）
鳥屋町 日下雅喜（田鶴浜町）
中島町 澤井健一（鹿島町）
鹿島町 勢登豊（中島町）
能都町 浜上幸喜（内浦町）
内浦町 大黒美憲（能都町）
六月一日付終了
高松町 香林健一（内灘町）
内灘町 高丸一久（高松町）

平成十三年度通常総会を開催

商工珠算連盟石川県支部

全国商工珠算連盟石川県支部は、四月二十九日、県連合会研修室で平成十三年度通常総会を開催した。

席上、平成十二年度事業報告並びに収支決算の承認、平成十三年度事業計画並びに収支予算の決定を行った後、任期満了に伴う役員を選任を行い、支部長に土屋清氏を再任した。

十二年度主要事業として

は、全国商工会珠算検定の実施（年四回）をはじめ、第三十八回商工珠算競技大会の開催（八月十一日開催）、優良珠算生徒の表彰式（競技大会

と同日開催）、珠算塾生徒の研修旅行「第十六回パチパチ号」の運行（八月二十四日～二十六日・東京ディズニーランド）、珠算指導者の資質の向上を図る研修会の開催などを決めた。

また、総会終了後、総務部・検定部・研修部の各部分に分かれ、今後の部会運営について協議した。

なお、任期満了に伴い選任された、支部長以下の役員については次のとおり。

- 副支部長 畑美智子
- 理事 畑 尚治、竹内昌枝
- 真田明美、杉永真弓
- 岡田信子
- 監事 松田潤子

経営一口講座

私の担当する最近の相談案件は殆どが売上げ減から利益減となり、売上げの順調だった頃に借入れした過大な借入金の返済に窮するものであります。

中小企業の殆どは自己資本比率が低いため借入金

最近の相談事例から

は一本化し長期化することですが種々な条件があつて簡単に出来ないのが現状です。

時恰も不良債権の早期最終処理が押し進められようとしています。最終処理とは破綻懸念先以下の不良債権の直接処理則ち債権放棄、法的処理、債権譲渡等ですが、

てか毎月返済の不要な手形貸付ではなく、証書貸付けが殆どのため新しい借入れが出来ても以前の借入れと返済が重なり、前より更に短期間に資金不足となり、更に借入れするという悪循環に陥ってしまします。この事態打開の最良策

中小企業に適用されるのは法的処理が殆どだと思います。

前記相談事例については現状では一年単位の償還猶予(含減額返済)で大半は対応しているのですが、即破綻懸念先とはなりません。赤字累積から債務超過状態が続くとその恐れが出て来ます。

構造改革のためには痛みを味わわなければならないこれからですが、経営者の皆様方には赤字にだけはならぬ様努力され、直接消却の対象先になる事なく、勝残り組になって頂きたいと思う次第であります。

(県連合会嘱託専門指導員 広岡 茂雄)

外国人労働者の安全衛生の確保に努めてください。

労働災害を防止するためには、機械設備等の安全対策とともに、労働者に対する適切な安全衛生教育の実施が必要です。

外国人労働者に対しては、労働災害防止のための基本的な指示、合図や緊急の指示を理解することができるように、「止まれ」、「入るな」等の必要な日本語や共同作業を行う場合の基本的な合図等を習得させるよう努めてください。

事業場内における労働災害防止に関する標識、掲示等について、図解等の方法を用いる等、外国人労働者がある内容を理解できる方法により行うよう努めてください。

外国人労働者に対して健康診断を実施してください。その際、健康診断の目的・内容を外国人労働者が理解できる方法により説明するよう努めてください。

金融情報

県制度金融金利改定

(七月二日より実施)

小口融資(一般・特別)	1・85%	1・6%
緊急経営支援融資	1・75%	1・5%
経営安定対策等融資	1・25%	1・0%
(付保)	1・75%	1・5%
(一般・特別)	1・75%	1・5%
創業者支援融資	1・25%	1・0%
(付保)	1・25%	1・0%
一般分、特別分	1・85%	1・6%
中高齢者	1・85%	1・6%

国金だより

(適用日六月八日)

国民生活金融公庫では、次の通り金利の引き下げがありました。

普通貸付	5年以内	1・75%	1・6%
経営改善貸付		1・45%	1・3%
経営革新分		1・55%	1・3%
一般分		1・75%	1・5%
情報技術活用支援融資		1・55%	1・3%

融資利率引き下げ

商工貯蓄共済融資

加入者積立金利率を十三年六月一日より現行の1・3%から0・9%に引き下げすることに伴い、商工貯蓄共済制度の融資利率を、七月一日から左記のとおり引き下げいたします。

貯蓄共済融資利率(年率)

	新利率	旧利率
1年以内	1.4%	1.8%
5年以内	1.6%	1.8%
10年以内	1.9%	2.1%
積立金の範囲内	1.3%	1.7%

(13年7月1日から)

石川県商工実業同友会総会 新会長に畠中宗雄氏(根上町)



畠中宗雄氏

商工会 青年部のOBで組織する石川県商工実業同友会の総会は五月十五日、ホリデイ・イン金沢で開催された。

総会では、十三年度事業計画や収支予算などが承認され、任期満了に伴う役員の変更では、会長に根上町の畠中宗雄氏が選ばれた。挨拶の中で畠中宗雄氏は、「この組織を盛り上げるべく、一生懸命がんばりたい」と決意を述べた。

総会終了後には、「最近の考古学の話」と題して、金沢学院大学教授の橋本澄夫氏より、能都町真脇遺跡や津幡町加茂遺跡など古代人の生活様式について、貴重な講演を頂いた。

なお、新役員は次のとおり。

- 監事 秋山秀正(田鶴浜町)
- 理事 井出善昭(寺井町)
- 副会長 堀 勇(鳥越村)
- 会長 寺井順幸(富来町)
- 副会長 西村秀博(鳥屋町)
- 表井源一(内灘町)
- 会長 畠中宗雄(根上町)
- 副会長 福池正人(柳田村)

平成27年度 いしかわ商工会ベスト店賞



特別賞
株 山中石川屋
山中町

「山中温泉」と言えば「娘万頭」、「娘万頭」と言えば「山中温泉」と言われるほど、地元における「名物娘万頭」の評判は高い。

その製造元が、目抜き通り「ゆげ街道」に面して、由緒ある看板を掲げ、歴史を感じさせる店舗を構える「山中石川屋」である。

二天町の工場で、吟味に吟味を重ねて製造された「落ち着いた美味しさ」は他の追随を許さない。本年八月には、工場隣接の新店舗も営業を始める予定であり、「二店相まっ」て更に名声を高めていくことだろう。

特別賞
ギャラリー 耀
山中町

山中町の中心部に、店頭「けやき」の緑を繁らせて、風格のある街並みによくマッチした高級感あふれる新店舗がある。創作和紙店「ギャラリー耀」である。

「創作意欲を満足させること」によって充実感を得る」という創業者中野耀子さんの理念には、賛同者も多く、和紙教室を開催するなどのサービースを通して、多数のファンを獲得してきた。趣味で始めた細工品を商品の域にまで引き上げるには、極めて高い創造性が必要だが、店内には、その創造意欲が充満し、座って



いると不思議な幸福感につつまれる。山中町の活性化に貢献する新しい工芸がまた増えた。

特別賞
メガネのうしや
羽咋市



羽咋市中心通りを行くと、突如大きな看板を掲げた広くてモダンな店が出現する。メガネは医療用具であると同時にファッション商品でもあることをしっかりと認識し、顧客一人一人にフィットしたメガネを作ることによって絶大な信頼をかちえている「メガネのうしや」の新店舗である。ゆつたりとした店内には検眼設備や、加工設備が設置され、眼鏡士や、オプティカルカラーアナリスト等の資格を持った経営者一族が「かけやすさ」「見やすさ」に加えて顧客毎に科学的に分析した「かっこ

よさ」を提案しつつ販売にあたる。UFOの街羽咋に最先端を行く眼鏡店が出現した。

奨励賞
米光薬店 自然生活米光
米川町

米光薬店は、美川町の中心部、きれいな街並みにカラー舗装が映える大正通り商店街の中ほどにある。「自然治療力を高める生活を、お客様と共に考える」をコンセプトとし、近隣に「からだに美味しい事を始めませんか」と呼びかける。店内には、「薬」と「自然食品」がほどよい調和を保って陳列され、コーヒー豆の販売を兼ねて、一角に設けられたコーヒーショップからは香ばしい匂いが漂う。店主米光ひとみさんの性格がそのままに滲み出たような、

「明るく、座っているだけで楽しくなるお店」である。



奨励賞
完熟うどん処獅子家
野々市町



野々市の本町通りを行くと、「完熟うどん処 獅子家」と大書した力強い看板を掲げたうどん屋さんが出現する。昨年九月にオープンした「獅子家」の新店舗である。野々市ジャスコからの移転を機に営業を昼夜二部制に改めた。昼は「うどん専門店」として、うどんの美味しさにこだわりの、夜は晚餐にふさわしいアールコールを含むメニューも提供する。この方向が地元の絶大な支持を受けて、現在の繁盛店が出現した。「地酒を呑め、焼肉と新鮮な魚介を食べれるうどん屋さん」というイメージは新しく、店主の研究熱心と相まって、今後「野々市発うまいもの情報」が、広く金沢・松任方面をもかけめぐることだろう。



御菓子司むらもとは、「伝統を引き継ぎながら、新しい菓子を創作する」という目標を掲げて、代々鶴来町の目抜き通りで、営業を続けて来た。材料にこだわり、自家製のあんを炊き上げ、季節季節の装いをまとうて、店頭に陳列される和菓子の「おいしさ」「美しさ」は、真の「美味」を追求してきた代々の努力の賜物であろう。当店は今、道路拡張にともない、旧店舗跡にその遺風を受け継いだ新たな店舗を建設中である。九月末には完成する予定なので、お菓子愛好家とともにその日を期待して待ちたい。

奨励賞
御菓子司むらもと 鶴来

花と紫色の紙をあしらったウインドウの演出はすばらしく、その前に立つと思わず店内に引き込まれてしまう。一歩店内に踏み込めば多数の商品がそれぞれの個性を主張して購入を迫る。商品構成と店舗の演出照明が見事に合致したために生じた効果であろう。「仕立品尊重」の営業姿勢もうれしく、パセオ通りの完成にともなうて、益々顧客が増えるだろう。



奨励賞
ひらの洋装店 羽咋市

羽咋駅前商店街は、今装いを大きく変えつつある。スベイン風を基調としたパセオ通りの誕生である。その中にあるのも一際、人目を引くのが「ひらの洋装店」の明るい新店舗である。



宇出津のメインストリートに大きな鮮魚店がある。漁業の町の「顔」として、地元だけでなく、能登一円、更には広く金沢にまでその名を知られた「かみこ鮮魚」の新店舗である。シンブルな内装の店内は通路幅も広く「活きのよさ」が際立つ。地物にこだわり、旬を重視し、「焼く」「揚げる」「煮る」などの手間を惜しまぬ商いは、顧客の信頼を高める。レシピや「お魚一口メモ」による調理法の解説も顧客重視精神の現れであり、商店街の再整備が完了した暁には、その姿勢は更に高く評価されることだろう。

奨励賞
(有)かみこ鮮魚 能都町

いしかわ商工会ベスト店賞は本会のHP (<http://www.ishikawashokokai.or.jp/>) のTopicsに掲載されております。



今がチャンス！創業をめざすあなたのための実践セミナー

新規開業応援セミナーを開催

ふるって参加下さい!!



区分 開催時間	講義の内容	講師等
10:20~	開会あいさつ	石川県商工会連合会
講義1 10:30~ 12:00	事業アイデア創出のポイントと起業家の条件 ・市場ニーズを捉えた、新事業展開の発想 ・成功している元気起業家の秘訣とは	松沢友三氏 日本マネージメント・リサーチ顧問
講義2 12:45~ 14:45	新規開業の準備と事業経営の基礎知識 ・新規開業の心得及び事業成功のポイント ・事業目標の設定と計画策定の要点	原田智明氏 人材開発研究所 所長
講義3 14:45~ 15:30	新規開業のための各種融資制度の概要	石川県商工労働部 ほか
個別相談会 15:35~ 17:00	新規開業のための個別相談会	経営コンサルタント 3名

開催場所及び日程

- 七尾産業福祉センター 7月21日(土)
 - 寺井町福祉会館 7月22日(日)
- 内容 左記(両会場とも同一カリキュラム)
- 実践講習会(10:20~15:30)
 - 個別相談会(15:30~17:00)

募集要項

- 募集定員 各会場とも50名
- 受講料 無料
- 申し込み先 受講会場を指定のうえ、下記までお問い合わせ下さい。

石川県商工会連合会

TEL 076-268-7300 FAX 086-268-9933

E-mail kenren@ishikawashokokai.or.jp

又は最寄の商工会

- 締め切り 7月13日(金)
(応募者に参加証を送ります。)

探訪 チャレンジ企業 23

高い技術力で循環型企業に挑戦 オカダ合金株式会社：宇ノ気町



百年後の国宝 (金沢城址の復元)

このたび、第十三回全国都市緑化フェアの開催を記念して、金沢城址公園に五十間長家、菱櫓、橋爪門続櫓が百数十年ぶりに復元された。百年後の国宝とも言われる雄姿を象徴するものが、加賀藩独特の鉛瓦であり、精密鑄造で評価の高いオカダ合金株式会社が製造を担当し、工事完成に貢献した。

もともとの鉛瓦は、薄板を叩き出して作られていた。しかし、叩き出し品は、角部が薄くなつて、亀裂が入りやすい。復元に際して、耐久性を高めるために、巴瓦、鬼瓦、唐草模様瓦等、角部の多い細工瓦は、鑄造によって製作されることになった。そして、アルミニウム鑄造について高い技術力を評価されている当社に白羽の矢が立てられたのである。

融点の低い鉛の性質をよく見極めて、精巧な鑄鉄製の金型とマッチさせ、一・八〜二ミリという薄い鑄物を作り出すには、工夫に次ぐ工夫、努力に次ぐ努力が必要であったがともかくも、納期内に完成させたことにより、金沢城址復元工事は、滞りなく終了したのである。

創業の経緯(伯父の教訓)

今日では、このように高度な技術力を誇る当社も、実は「ひよんな切っ掛け」から誕生した。現会長岡田欣一氏がまだ学生

だった頃、伯父に「将来、事業を起こしたいがどの業種がよいか」と尋ねた。伯父は「モノを作るならば、たとえ失敗しても材料費だけは回収できる鉛屋か鑄物屋がよい」と言われた。岡田氏はその教えに従って鉛屋で修業し、まもなく開業へとこぎつけたが、肺を患って断念。その後、銀行員へと転身した。

しかし、創業の夢忘れ難く、昭和三十七年、金沢市の自宅裏に小さな工場を建てて、鑄物の製造を開始した。これが、当社の創業である。伯父の教訓を忠実に守ったが故に、オカダ合金(株)が生まれたということになるが、それにして「鉛屋」と「鑄物屋」という取り合わせはおもしろい。その後、会社は順調な発展を続け、昭和五十年には、工場拡張と公害対策を兼ねて現在地に移転したのである。

技術力の重視

当社発展の原動力は、まず第一に金型設計製作からアルミ鑄造、機械加工にまで至る一貫生



「難しいことをやる」「難しいモノを作る」方針が成功の原動力と語る
会長 岡田欣一氏(左)と社長 石丸義雄氏(右)



リサイクル材を利用して作られるミニチュア瓦

産体制を築き上げたことにあつた。特に品質の要である金型を正確迅速に仕上げる技術を習得したことは大きな強みとなつた。

また、「市場のスキマ」とも称すべき「中ロット品の生産」に特化し、安定した受注を獲得してきたことも大きい。大量生産は「ダイカスト鑄造」で、一品生産は「手込め」でというのが、業界の常識だが、それらを避けて、大物は「Vプロセス鑄造」で、高精度品は「金型(グラボティ)鑄造」することで、コスト面、納期面での優位を確実なものにしてきた。

更に、「鑄造」という立場から発注者へのアドバイスを繰り返して、設計図面の改良を通じて、顧客との一体関係を築き上げてきたことも無視できない。「技術を徹底して重視する姿勢」が今日の繁栄へとつながったのである。

未来へのチャレンジ (循環型企業への挑戦)

当社は、この技術力を利用して、今復元瓦のミニチュアを製造している。材料は工事の際に発生した鉛屑材であり、ケース、装飾品等の付属品は異業種グループ「NUT」の交流により生まれた。更に、景観鑄物と称して「立体魚拓」も試作している。これらは余技の部類に属すると言えないこともないが高度技術を活用している点では、機械部品等と変わりはない。

「難しいことをやる」「難しいものを作る」という大方針が成功の原動力であったという経験を活かして、今後も挑戦を続け、鑄造業の宿命ともいえる公害型企業を脱し、リサイクル効率の極めて高い循環型企業へと転換を図っている。その手始めが、リサイクル材を利用したこのミニチュア瓦である。循環型社会の実現を目指す当社のチャレンジ精神を支援し、金沢城址復元を記念して、会員各位の家庭に一個ずつ留め置かれることを提案したい。

(お問い合わせ)
オカダ合金株式会社

〒九二九 一三二一
河北郡宇ノ気町宇気六番地
TEL 〇七六 二八三 四三三
FAX 〇七六 二八三 一五四四
URL <http://www.okadagokin.co.jp/>

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。